

日露生態系保全協力

問題意識

- 温暖化によるオホーツク海の流氷の急激な減少への対処
(オホーツク海の流氷の面積は、ここ30年間で20%減少。)
- アムール川から流出する物質による影響等、海洋環境の把握
- 油汚染、鳥インフルエンザ等の国境を越えた問題への対処
- 北方四島周辺を含む日露隣接地域の生態系保全

日露協力が
急務

2009年5月、日露政府間で「協カプログラム」に署名。

以下の具体的分野での協力を進めることで一致。

- ◆ **海洋・陸上生態系の共同研究**。希少種や絶滅危惧種に関する調査。
- ◆ 生態系に関する**情報交換、統一データベースの作成**。
- ◆ 油汚染、鳥インフルエンザ等の**緊急事態等における迅速な情報交換体制**の確立。
- ◆ 流氷の変動やアムール川から流出する物質の調査等、**隣接海域の海洋環境の把握**。
- ◆ 極東・シベリア等における**気候変動と生態系への影響**の調査。
- ◆ 日露の**関係省庁間の協力**、四島交流の枠組みによるものを含む**専門家交流の拡大**。

2010年4月 日露隣接地域生態系保全ワークショップ

(於:ウラジオストク)

2011年5月 第2回オホーツク生態系保全・日露協カシンポジウム

(於:札幌)

専門家交流の実施

- ・四島への訪問(08年~11年, 延べ45名)
- ・四島からの受入(08年~11年, 延べ27名)